

キジハタの放流

先日、磯浜でキジハタの放流会が行われました。主催したのは、大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターで、参加した地元の小学生約70名が、卵から人工的に育てられた大きさ10cmほどのキジハタ約300尾を放流しました。(写真1・2)。放流場所は、生徒たちの安全を考えて浜の波打ち際の浅いところでしたので、バケツから出た多くのキジハタはすぐに沖に向けて出て行こうとせず、生徒たちの足元でウロウロするばかり。やはり、海を知らない子供たちなのでちょっと怖かったのかもしれません。生徒たちは心配になり、手で沖へと押し出してあげていました。「早く海に慣れてまた戻ってきて」といった声も聞こえ、微笑ましい場面でした。

キジハタは、大阪では「あこう」とよばれ、美味な高級魚です。約3年で30cmほどに成長したものが漁獲されて食卓にも届きます。キジハタは根付きの魚で、大きな移動はしないようなので、磯浜の岩場ですくすく育って私たちの食生活を豊にしてくれる事を期待しています。

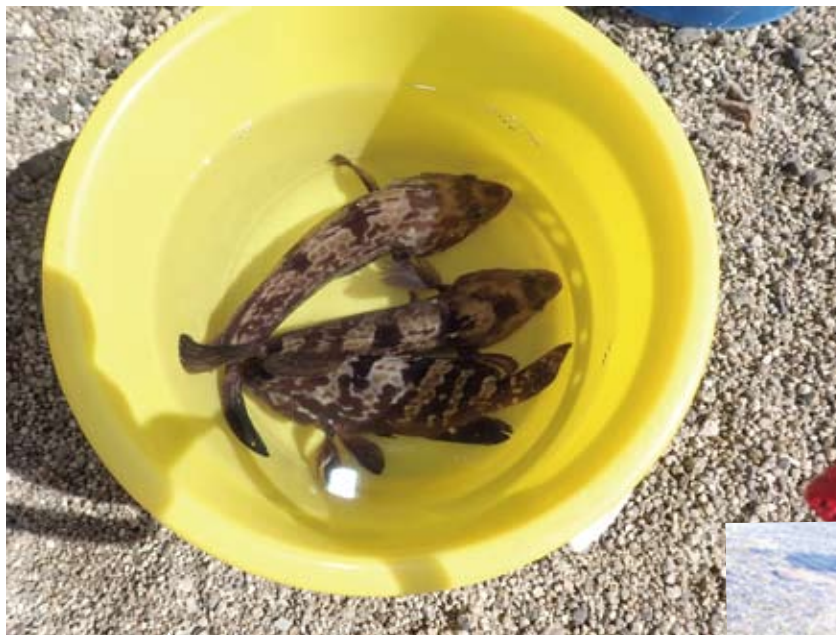


写真1 放流されたキジハタ



大きく育ってね～



写真1 放流の様子



せんなん里海公園

Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所